

(別添5)

事業所名 グループホーム 笑みの里

2 目標達成計画

作成日: 平成 31 年 2 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束廃止委員会を毎月実施し、同意書の確認や実施状況の評価、廃止に向けた話し合いを行っている。実際に件数は減っているが、完全に廃止出来ているわけではない。	身体拘束の完全廃止に向け、委員だけではなく、職員全員が身体拘束についての理解と廃止に取り組むようになる。	①身体拘束に関する勉強会の開催 ②委員を中心とし、拘束に替わる対応がないか毎月リスクマネジメント委員会の会議で話し合い、施設に持ち帰り職員全員が共有している。	12ヶ月
2	12	ご家族に入居時、重度化した場合や、終末期のあり方について話し合い確認を行う様になっているが、入居期間が長期になっている方や家族の状況も変化している方もおられる。	入居時に説明と確認をとっているが再度全員の家族に対し、終末期のあり方について、意向を確認する。 職員が利用者一人一人の終末期のあり方について、情報の共有をする。	再度、重度化した場合、終末期のあり方について、その都度ご家族に報告を行っているが、文書での確認を行う。 職員間で話し合いを行い、利用者一人一人の終末期のあり方について情報を把握する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。